

LCMS-8045 LC/MS/MS および薬毒物分析データベースを用いた分析条件の検討
情報公開文書

2022年6月13日作成 第2版

この説明文書は、「LCMS-8045 LC/MS/MS および薬毒物分析データベースを用いた分析条件の検討」について説明したものです。

本研究は、杏林大学医学部倫理委員会の審査を経て、医学部長の承認を受けています。

[意義・目的]現在の薬毒物分析データベースを用いた薬毒物スクリーニング分析では、分析結果として表示された医薬品成分の中より、臨床情報をもとに精査をし、検査結果を報告しています。そのため、検査結果の判読には経験を必要とし、検査結果報告までに時間を要します。そこで、現在の分析条件を検討し、検査結果の判読を簡略化することで、検査結果報告までの時間を短縮できないかと考えました。

[方法] 2026年6月30日までの期間に、診療目的で杏林大学医学部附属病院において薬毒物スクリーニング分析検査を行った患者さんの残りの血液・尿・胃液をご提供いただき、LCMS-8045LC//MS/MS および薬毒物分析データベースを用いて薬毒物スクリーニング分析検査を行います。従来使用されている機器での検査値とスクリーニング分析結果との比較を行った上、スクリーニング分析条件を検討します。対象となる患者さんに、新たに負担をおかけすることは一切ありません。

[使用する情報の匿名化]個人のプライバシーおよび個人情報の保護には十分に配慮します。研究結果を公表する際も個人を特定できる情報は一切使用しません。データの収集、管理は個人が分からないように匿名化して行ないます。データはすべてホストコンピュータに連結されないPCのみで解析を行い、外部からのアクセスを不能にします。

もし、ご自分の血液・尿・胃液の残余検体の利用を拒まれる場合には、下記までご連絡ください。血液・尿・胃液およびデータは利用せずに確実に消去します。また、利用を拒まれたことで一切の不利益は生じません。他にご意見ご要望等がある場合にも、遠慮なく下記までご連絡ください。

[研究代表者]

研究責任医師: 杏林大学医学部臨床検査医学 大西宏明

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

[Tel:0422-47-5511](tel:0422-47-5511) (内線 3552) Fax : 0422-79-3471

[収集したデータの利用目的] 学会発表、論文作成